

「いわて釜石ラグビーフットボールクラブ」のユニフォームに身をつつみ、笑顔を見せる尚人さん。



国際大会の経験を糧に いつまでもラグビーを楽しみたい



なおと
小原 尚人さん (23歳)
横道下出身・在住

社会人ラグビークラブチーム「岩手ブレイズラガー」所属。9月にフランスで開かれたアマチュアラグビーの国際大会に「いわて釜石ラグビーフットボールクラブ」の選手として出場。ポジションはPR1（※）。趣味はゴルフ。祖母、両親と4人暮らし。

会社員として働く傍ら「岩手ブレイズラガー」に所属する尚人さん。9月23日〜30日にフランスで開かれた「第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバル」に「いわて釜石ラグビーフットボールクラブ」の一員として選ばれ、海外の選手と戦ってきた。

尚人さんがラグビーを始めたのは高校1年生の時。入学した黒沢尻工業は環境に恵まれ高いレベルの選手が集まる花園大会ほか全国大会の常連校。しかし、出場機会が少なかった尚人さんにとっては悔しい学生時代でもあった。引退して2年、次第にそのときの思いがラグビーを続ける原動力に変わっていた。同級生らから誘われて岩手ブレイズラガーに入団。社会人になり、まずは楽しんでラグビーをすることを第一に考えるようになった。

9月、迎えた初めての国際大会。海外選手との試合は緊張よりもワクワクが上回った。試合では勝つことができなかったが、日本選手の低いタックルなど、海外にも通用する確かな手応えも感じた。

尚人さんが大切にしていることは仲間とのコミュニケーション。国際大会での経験を糧にし、まずは所属する社会人チームでの全国大会出場を目指す。そして、「これからも大好きなラグビーを続けて、いずれは40歳以上の人が出場する『マスターズ花園』に高校時代の仲間たちと出場したい」と目標を語ってくれた。

※フォワードのポジションの一つ。PR1は左プロップ。スクラムを組むときに最前列に位置するスクラムの柱。「縁の下の力持ち」と言われるポジションでもある。

広報日記



今月は4年ぶりの公演となった町民劇場を取材させていただきました。広報担当になってからは初めての公演。シャッターチャンスを見逃さないようにと大ホールを回りながらカメラを構えて準備OK!...ところが、キャストの皆さんの迫力ある演技と音響・照明の素晴らしさに圧倒され、気が付くとカメラを下ろして物語を見入ってしまうことがしばしばありました。来年の公演も楽しみみです。(村口)

人口と世帯		9月30日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,218人	(+13)	
男	7,835人	(+2)	
女	7,383人	(+11)	
世帯数	6,371世帯	(+6)	

町公式 LINE
情報発信中

